

サイエンスプログラム1 地域巡検 発表会 7月24日

7月24日、サイエンスプログラム1の「地域巡検」が、クラス発表会を終え完結しました。

SSH部長よりコメント

「1年生は地域巡検の目的をよく理解し、**具体的な提案先まで想定した企画**ができていた。生徒同士の**質疑応答も活発**であった。2学期の関西実習でますます成長してくれることを楽しみにしている。」

SP授業者よりコメント

「発表の流れについて基本的な指示しかなかったにも関わらず、『**問題点**』と『**解決方法**』を**考えて取り入れるなど、探究活動の基礎となる視点を持っていた**。先般行われた益田市行政学習や、『さいえんすたうん』での上級生の発表をよく聞いていたのだろう。」

「石見の抱える課題を挙げる際、科学的視点を意識した班が多かったが、**根拠となる客観的なデータが乏しい**と感じた。先入観や見聞きしたことだけで話さず、調べたデータを引用すると説得力のある発表になる。」

生徒アンケートより一部紹介

- － 石見を発展させていくための工夫というのは、あらゆる観点から作り出せることに気づきました。
- － 益田には何もないのではなく、まだ伝えきれていないだけだということを知りました。SSHの事業でこのような貴重な体験ができて良かったです。この体験を基にもっと益田市のしている取組みに関心を持ち、積極的に参加したいと思いました。
- － 研修先で伺ったお話の中で、ぜひ益田に戻ってきてほしいと言われました。今の私達は今後の益田市を担っていく大きな存在だと感じました。いつか益田の役に立てるような存在になりたいと思いました。
- － 現地研修に行く前と後で考え方が変わり、班の人と話し合いをすることが多かったです。現地研修に行く前に、事前課題などでしっかり学習をしていてよかったと思う研修内容でした。地域の課題や現状を見つけることができるととてもいい活動になりました。
- － 貴重な体験ばかりの地域巡検でした。外へ出て学びを持ち帰って、自分で考え直して自分のものにする大切さが、ちょっと分かったような気がしなくもないです。
- － ルーブリックの自己評価でいうと、「課題発見・解決力」が大きく身に付いたと思う。益田には課題がたくさんあるが、それを解決するために利用できるものもたくさんある。そのことに気づくことができたのは、一益田市民として大きいことだと思った。
- － まだ将来のことは何も決めていない私にとって、今回の地元企業の取り組みについて学べる授業は、選択肢を広げるという意味でとても身になった。

地域貢献に対する意識を高めてくれた生徒が多く、SSH事業目的の1つである「科学的視点を持った、未来の地域・社会を担う人材」の育成という点からも、前向きで嬉しい感想ばかりでした。

各クラスの上位入賞班は、次のとおりです。

- | | |
|---------|--|
| 1組 最優秀班 | 102班「益ます健康に！」 |
| | (大場 幹永、大庭 美月、大畑 祥平) 2コース |
| 優秀班 | 103班「益田の未来を担うハマグリ」 |
| | (岡崎 晴輝、木原 叶羽、木村 弾) 9コース |
| 2組 最優秀班 | 202班「石見空港はちみつ大作戦！」 |
| | (大井 美侑、大浴 優仁、大田 遼哉) 8コース |
| 優秀班 | 203班「石見のフルコース」 |
| | (岡崎 永太、岡村 あゆみ、河上 知央) 6コース |
| 3組 最優秀班 | 302班「食から始まる石見の発展」 |
| | (江上 ひな、大畑 夏輝、小山 唯花) 8コース |
| 優秀班 | 308班「負のスパイラルを食い止める！～Reforestation Plan～」 |
| | (廣瀬 颯太、福原 英太、松崎 歩志) 4コース |
| 4組 最優秀班 | 405班「森の中の小さなうち」 |
| | (齋藤 咲良、佐々田 遼斗、高木 彩音) 4コース |
| 優秀班 | 410班「木石～木を使って石見を発展させよう～」 |
| | (松田 壮平、松本 空、真庭 桜子、宮崎 成希) 4コース |



※写真と入賞班は異なります。